

びわ湖わんぱくキャラバン

9月15日(土) ~ 9月17日(月)

IN びわ湖青年の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	水遊び	工作(名札づくり)
2日目	カヌー体験	いかだ体験	キャンプファイヤー
3日目	清掃・野外炊飯	施設を出発・解散	

一日目： 天候に不安が残る中、電車で揺られ近江高島駅に到着しました。「晴れてほしい！」という願いが通じたのか、次第に雨は止みました。お弁当を食べ、グループ発表と着替えを済ませ、早速びわ湖での水遊びが始まりました。気温が低く、水は冷たく感じましたが、遊んでいるうちに慣れてきたようで、泳いだり、ビーチボールで遊んだり、自由に遊びました。休憩後は水切りに夢中になり、友達と勝負をしながら楽しんでおられました。その後部屋に入り、水着やタオルを干し、オリエンテーションで布団やお風呂の準備を確認しました。夕食はみんなでテーブルを囲み、賑やかに食べました。夕食後は名札づくりをしました。グループでお揃いの形を決め、のこぎりで板を切り、やすりで形を整えました。のこぎりは、高学年メンバーのお手本を見ながら一人ずつ挑戦し、苦戦しながらも頑張っておられました。



二日目： 今日朝から夜までプログラムが目白押しです。朝食をしっかり摂り、カヌー体験が始まりました。施設の方にパドルの持ち方や漕ぎ方を教えてもらい、四人一組でカヌーに乗り込み湖上へ漕ぎだしました。最初は進みたい方向へ進めませんでしたが、しばらくすると声を掛け合いながら上手に操縦しておられました。後半は自由にペアやトリオを組みました。湖上にある水草をかき分け進むのが楽しいようで、「探検に行こう！」と友達を誘い、何度も挑戦していました。昼食を挟み、午後からはいかだ体験をしました。「本結び」というロープの結び方を学び、タイヤチューブと板をロープで固定し、いかだを完成させました。カヌーに比べると、乗船人数が多いので進むスピードはゆっくりでしたが、パワーがあるので遠くまで進む事ができました。片付けや着替えを済ませ、部屋でゆっくり休んだ後、夕食を食べました。そして、夜は火を囲みゲームやダンスを楽しみました。



三日目： 起床後は布団や荷物の片付け、部屋の清掃を素早く済ませ、朝食はホットドックを作りました。経験者が多い為、非常に手慣れた手つきで作り進めました。施設に戻り、荷物の運び出しや共有スペースの清掃を終え、集合時間までは自由に遊びました。昼食作りは、かまど、お米、カレーの3つの係に分かれ、カレーライスを作りました。今回は大根、白菜、ちくわなど定番の具材がほとんどない『変わり種カレーライス』に挑戦しました。「美味しいの？」と疑問を持ちながらも調理に取り掛かり、係の役割を懸命に頑張っておられました。出来上がったカレーは想像以上に美味しく、何度もおかわりをしてお鍋は空っぽになりました。洗ひ物は率先して自分のできる事を探し取り組むメンバーが多く、施設の方にお褒めの言葉をいただける程きれいに洗いあげました。帰りは集合場所ごとに順番に降車し、解散しました。電車を降りると、電車の窓越しに手を振り友達を見送っておられました。



<キャンプ総括>

今回は『水遊び』、『カヌー』、『いかだ』と湖上プログラムが盛り沢山でした。どのプログラムもスタート直後は盛り上がり、意欲的に活動へ参加する姿が見られましたが、時間が経つにつれ、プログラムへの意欲の差を感じました。単調な動きを繰り返す事に飽きたり、疲れてしまったり、新しい遊びへ興味が変わったり、理由は様々ですが、途中からは自分で選択しながら水遊びを楽しみました。それぞれの性格も大きく影響すると思いますが、同じ遊びやプログラムを長く楽しむ為の発見をこれからもみんなで共有していきたいと感じると共に、受け身ではなく、前のめりに活動に参加できる工夫を重ねていきたいと思いました。(生本 ひろみ・藤木 将孝)